

諏訪地域 6市町村に要望書 提出・懇談申し入れ

コロナ対策と社会保障の前進願



諏訪地方社保協は、11月4・5日、諏訪地域6市町村を訪ね、市町村長あてに今年度の国保・介護・福祉医療に関する要望書を提出しました。

この要望書は毎年内容を更新して提出してきていますが、今回は特に新型コロナウイルス感染症拡大の中、市域住民のいのちと暮らしを守る立場で運営してきている市町村を励ましつつ、さらなる医療・福祉・介護の充実を願って提出しました。今後12月から年明けに

かけて回答がなされた後、市町村幹部の皆さんとの懇談が予定されます。

要望書の概要

① 国民健康保険の改善

- ① 保険料の低所得者減免、多子、母子、障がい者減免制度の創設等。
- ② 均等割・平等割を縮小し、子どもの均等割の減免を18歳まで拡充。
- ③ 国保法44条の周知と医療費一部負担金の減免と自治体の柔軟運用。
- ④ 滞納者でも支払う意思のある方には短期保険証・資格証明書の安易な発行をせず、納税相談の丁寧な実施等。

- ⑤ 新型コロナウイルスにより収入減になっている世帯への保険料減免制度の周知と期間延長等。
- これらとともに県が27年までに2次医療圏ごとに

国保料の統一を目指す方針に対する見解を求めています。(裏面資料1)

後期高齢者医療

制度の改善

- ① 医療費窓口負担2割化を中止し、1割負担の継続をするよう国に意見書を上げる。(裏面の請願書提出記事参照)

介護保険・高齢者

施策の改善

- ① 保険料の軽減のために準備基金取り崩しや一般会計からの繰り入れを行うこと。
- ② 補足給付の見直しによる補助縮小を受け自治体独自の施設入所者への食費・居住費補助制度の創設。施設退所せざるを得なくなるような方への救済措置の創設。

障がい者施策の改善

- ① 障がい者医療費の窓口無料化の実施を。
- ② 障がい者が65歳を迎えても、一律介護保険サービス優先ではなく本人の意思・希望等個別性を尊重してサービス提供すること。

- ③ ケアプラン届け出義務化の状況について開示を。
- ④ 利用料の2割・3割負担になった方の状況調査と支援計画を示して。
- ⑤ 加齢性難聴者の生活を守るために、補聴器の購入補助の検討を。

子育て・子育て支援・一人親家庭と子どもの貧困克服

- ① 県に対し子どもの医療費助成について中学卒業まで拡大するよう要望すること。
- ② 対象年齢を18歳まで対象拡大を。(岡谷市・茅野市・諏訪市 裏面資料2)
- ③ 市町村独自に窓口負担の完全無料化を。
- ④ 就学援助の適用要件を生活保護基準の1.3倍以上とすること。(岡谷市・諏訪市・原村)
- ⑤ 幼稚園や認可保育所、認定子ども園などにおける副食費の無償化を。等

資料1

資料1は諏訪地域の市町村間だけでも、モデル世帯での比較で年間32,000円程度の保険料の差があることがわかります。国保料の統一化は格差が大きく難しいことがわかります。

6市町村	2021年度国保税料		2021年度介護分		2021年度合計		前年増減
	県順位	試算年額	県順位	試算額	県順位	試算額	
岡谷市	10	286,227	41	56,946	14	343,173	15,303
諏訪市	9	286,710	66	50,520	25	337,230	0
茅野市	57	254,680	55	54,339	58	309,019	-1,380
下諏訪町	40	264,470	35	58,500	41	322,970	0
富士見町	29	272,812	33	60,065	27	332,877	7,925
原村	52	257,820	47	56,040	54	313,860	-1,500
	最大値	286,710		60,065		343,173	
	最小値	254,680		50,520		309,019	
	差額	32,030		9,545		34,154	
県平均		260,907		57,886		318,793	

モデル世帯: 年金収入、夫婦2人子ども1人世帯 所得210万円
(所得割の賦課標準額167万円、資産割30000円)

資料2

自治体	対象年齢		所得制限	食費助成	受給者負担金 (円/レセプト)
	入院	外来			
岡谷市	15歳	15歳	なし	あり	500
諏訪市					
茅野市					
下諏訪町	18歳	18歳		なし	300
富士見町					
原村					
県制度	15歳	6歳			500

資料2は諏訪地域の21年4月時点での乳幼児福祉医療費給付事業の比較です。原村では18歳の3月31日まで窓口負担ゼロ(食事助成は無)。この制度は町村が進んでいます。安曇野市では10月、新市長が18歳までの無料化を公約し年齢拡大が進みます。他の市にも波及しつつある情報もあります。この地域でも前進させたいですね。

**75歳以上高齢者の医療費窓口負担2倍化許すな
5市町村議会に請願書を提出しました**



総務委員に署名する
廻本多都子諏訪市議 (11/22)

議会	紹介議員	常任委員会(委員)	委員長	審査日
岡谷市	笠原征三郎、早出すみ子	社会(6)	吉田 浩	12月9日
諏訪市	廻本多都子	社会文教(7)	小山 博子	12月9日
茅野市	望月克治、伊藤勝	福祉教育(6)	伊藤 正陽	12月14日
下諏訪町	松井節夫	生活文教(6)	増沢 昌明	
富士見町	名取武一	社会文教(5)		なし

社保協は原村を除く5市町村の12月議会に対して、「75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書」の提出を行いました。

今年6月、国会で75歳以上の高齢者医療費窓口負担2割化法が可決されました。来年の後半から年収200万円以上の全国370万人(長野県では7万人)の方々の医療費窓口負担が2倍になります。実施後3年間は一部の方は月の負担増が3,000円以内となる予定ですが、いずれ2割負担となります。国会では現役世代の負担軽減効果がわずか毎月30円弱ということや、コ

ロナ禍で経済的にも精神的にも疲弊している中での高齢者負担増は受診抑制をいっそう助長すること、また、今後国会審議を経ずとも2割負担になる対象者を広げることでもできるという重大な問題点が指摘されています。コロナウイルスによる感染拡大のもとでの高齢者の受診控えは病気の重症化・重篤化を招く危惧もあり、結果的には医療費の高騰も招きます。

議会請願は紹介議員が必要となります。各議会の共産党議員や先の総選挙で共同関係を築いてきた議員の皆さんにもお願いしました。7名の議員に紹介議

員になっていただきました。今後、社保協事務局は左記の表(敬称略)の日程の議会担当常任委員会での意見陳述を行い、質疑も受けます。審査日(予定)には委員会傍聴もできますのでご参加ください。委員会での質疑の様子に注目して、請願が採択されるよう頑張りましょう。

県社保協 介護部会主催
「介護保険制度の抜本的改革提言案」学習会
2022年1月21日(金)
AM10:30~(予定)
(ZOOM会議によるWEB講演)
講師: 林 泰則氏
(全日本民医連事務局次長)